



HSMニュース

「船舶管理費 かんたんシミュレーション」はじめました。

かんたん
シミュレ
ーション
はじめ
まし
た

本誌74号でも紹介させて頂いたのですが、当社Webサイトのリニューアルに伴い、基本的な条件を入力することで、船舶管理費の概算を簡単に試算できる「船舶管理費 かんたんシミュレーション」機能をWebサイト上に追加しました。

数種類の簡単な基本条件を選択して頂くだけで、即座に概算の船舶管理費を表示します。

あくまで、基本的な条件を基に当社の独自の基準で概算を算出しておりますので、その内容を保証するものではありませんが、ちょっとした参考としてご活用頂ければと思います。



当社では、引き続き皆様に有益な情報をご案内できるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。
当社の船舶管理にご興味を持っていただけましたらぜひお気軽にお問合せ下さい！

 日生シippマネージメント株式会社 <https://www.hsm-jpn.com/>

日本海事新聞に記事が掲載されました！

当社グループ会社である㈱HSMがサービスを提供しているクラウド型船舶管理システム「RitCH(リッチ)」に関する記事が2026年7月2日の日本海事新聞に掲載されました。

[HSM、船陸間の文書共有を一元管理。「RitCH」に新機能](#)

※記事全文をご覧頂く場合は会員登録が必要です

今回の記事では、6月にリリースしたRitCHの新機能「Document Manager」の説明を中心に紹介されております。「Document Manager」については、先月の本誌75号にて紹介いたしましたが、多くのお問合せを頂き、既に多数のお客様にてご利用いただいております。

㈱HSMでは、人材の確保や育成、複雑化している業務の効率化、規則や要求事項の厳格化等、船主・管理会社が抱えている多くの課題に対する解決策の一つとして同システムを開発し、ウェブシステムとしてサービスを提供しております。

詳細は、㈱HSMの[ウェブサイト](#)にてご確認ください。

Reach the itch「かゆい所に手が届く」実用的なシステム「RitCH」をぜひご検討下さい！



このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していきます。

今回も番外編として、出張先からお届けします。今回ご紹介するのは、大阪の夜に立ち寄った串かつの有名店です。

くわ散歩 第27回:これが本場の串かつだったのか・・・！大阪「串かつだるま」

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣、また出張先などのオススメのお店や、まだ知られていない穴場など、様々なスポットを紹介いたします。

大阪へ来る機会が多いものの、ほぼ空港直行で、街は意外と近くて遠い存在。この日は串かつにしようということで有名店「だるま」へ。実は今回私は初めてその名前を知りました。これだけ大阪に来ていて知らなかったとは…お恥ずかしい。



今回訪れたのは「串かつだるま 北新地店」さん(大阪市北区曾根崎新地1-5-25)。

事前に電話してみると席も空いており、この日はスムーズに入店できました。

店内に入ると壁にはたくさんの有名人のサインが飾られており、何も知らずに来てしまった私にも、やはり有名なお店なのだということがわかりました。



この日は、まずセットメニューを頼み、後は好きなものを追加しようということで、一番人気の串カツ9種+1品の「大阪城セット」を注文。

串かつの前に運ばれてきたのが、名物の「どて焼き」です。これが…美味しい！どて焼きはもともと好きですが、こんなに美味しいとは…まさか串かつが来る前に感動してスタートすることに。ちなみに後半に再注文してしまうほど、印象に残った一品でした。



いよいよ串かつが到着。元祖串かつをはじめ、海老やアスパラ、うずら卵、もちなど、様々な串がずらりと並びます。

串かつ自体は、これまでも他の居酒屋でも食べたことがあり、おおよそこんな感じと分かっているつもりでした、、食べるまでは。一口食べてびっくり。衣はすごく薄いのにしっかりと素材を包み、食感はサクサク。素材の味もしっかり楽しめます。これまでの串かつとは全然違うものでした…うまい！

続いて豚かつ、レンコン、鶏つくね、かぼちゃと、肉から野菜まで様々。衣が薄くて軽いため、揚げ物なのに重さを感じず、次々と手が伸びます。

追加で頼んだ紅しょうがも最高。串かつの紅しょうがって、なんでこんなに美味しいんですかね。

ちなみに、名物の“ソース二度漬け禁止”は、現在ボトルでかけるスタイル。別料金で従来のソースも頼めるそうですが、少し残念…時代の流れですね。



なんだかんだで、色々追加していました(写真が全て茶色ですね)



人気店の証、サインもずらりと並んでいました



水分補給を忘れずに！

本場の串かつは、衣の薄さも食感も味も別次元でした。今まで串かつを知っているつもりでしたが、どうやら全然違ったようです。また大阪を訪れた際には、再訪したいですね。もちろん、どて焼きのおかわりも…

それでは、次回の「くわ散歩」でまたお会いしましょう！

私も、この衣くらい軽くなりたいものです…





こんにちは!

今日は、色々と仕事に追われている中で、仕事の合間に息抜きの感覚で書き始めています。

もちろんシラフです! 最近、楽しくて痩せれないか色々と試行錯誤しており、今、加圧TシャツをYシャツの下に着用して加圧しながらこの記事を書いています。ちょっと苦しいです。

ということで、今回もとても共感できる記事を見つけたので、ピックアップしてみたいと思います。

「好きな仕事」じゃなくて「勝てる仕事」をやってみよう

良いタイトルですね。私もそう思います。

最近は、「好きなことを仕事にしよう」的なことを良く目や耳にしますが、私はちょっと違和感を覚えていました。

もちろん色々な意見もありますし、結果的にそれが良かったケースもあるでしょうし様々だとは思いますが。

今回の記事は、そんな私の違和感を少し解消してくれるような話になっております。

「好き or 好きじゃない」は結果によって変わる

今日は「好きな仕事じゃなくて勝てる仕事をやってみてはいかがですか?」みたいな提案をしたいと思います。

まず、仕事は、いくつか分類されると思っています。

4象限で言うと、横軸に「好き」「嫌い」があって、右に行けば行くほど「好きな仕事」で、左に行けば行くほど「好きじゃない仕事」。

縦軸には「得意」「不得意」があって、上に行けば行くほど「得意な仕事」で、下に行けば行くほど「得意じゃない仕事」。

右上が「好きで得意な仕事」、右下が「好きだけど苦手な仕事」、そして左下が「好きじゃない上に不得意な仕事」、左上が「好きじゃないけど、得意な仕事」となる。

そりゃ、まあ、右上が一番良くて、左下が一番厳しいのは間違いない。

問題は、右上が選べなかった場合に、「好きで苦手な仕事」と「嫌いで得意な仕事」のどちらを選べばいいのか? という話になってくると思うのですが、これは「上手くいったらドーパミンが出て、好きになる」みたいな観点から考えたら、「嫌いで得意な仕事」を選ぶのが正解かなあとと思います。

得意な仕事で結果を出せば好きになるので。

ちなみに、私が今やっている仕事の中にも、元々は「好きじゃないけど、得意な仕事」でしたが、良い結果が出たので今は「好きで得意な仕事」になっているものもたくさんあります。

んでもって、今日の話はここからです。

「勝ちやすい仕事なのに参加者が少ない」という現実

今、「好き」と「得意」の4象限の話をしたんですが、この4象限は同じものがもう一つ存在していて、4象限のAパターンが「勝てる仕事」で、4象限のBパターンが「勝ちにくい仕事」です。

つまり、「好きで得意で勝ちやすい仕事」と「好きで得意だけど勝ちにくい仕事」みたいなものがある…という話です。つまりつまり、仕事は大きく8パターン(4象限×2)に分類されて、基本的には、「勝ちやすい方」に張った方が良くないっすか? という話です。

仕事を選ぶ判断基準として、「勝ちやすいor勝ちにくい」があって、「好きor好きじゃない」があって、「得意or不得意」がある。

そして、それには優先順位が確実にあって、

一番重要なのは、「勝ちやすい or 勝ちにくい」、次に重要なのは「得意 or 不得意」、

そして、実はもっとも重要ではないのが「好き or 好きじゃない」です。

次ページへ続く

なぜ、「好き or 好きじゃない」が最後にきているか(重要ではないか?)という、先ほども申し上げたように、「好き or 好きじゃない」は結果によって変わるからです。

だけれど、「勝ちやすい or 勝ちにくい」は自分の頑張りでは変えられない。

たとえば、電話ボックスを作るのが好きで得意でも、もうそこには市場がないので勝ちようがない。

あとは、どれだけ好きで得意でも、最後の最後に「利権」が絡んできたり、最後の最後で「札束の殴り合い」や「人口の殴り合い」になるような仕事というのは、なかなか勝ちにくい。

今、「やりたいことが特にない」という人って結構多いと思うのですが、それならば尚のこと、今回提唱させていた「仕事選びの型」を参考にしてみてもいいかなと思いますか？

責任は取れませんが(笑)

今日は、なぜ、こんな話をしているかというと、自分自身、様々なことで幅広く仕事をしている中で、「勝ちやすい仕事なのに、参加者が少ない」という現実を目の当たりにしているからです。

自分の足で全国を回って、たとえば地方とかに行くと、「これを本気でやれば絶対に勝てるし、勝ったら楽しくなって、好きになるじゃん」みたいな仕事はかなり余っているんです。

「インプを伸ばす方法9選」みたいな発信を毎日せっせとやったところで、次から次へと競合が出てくるし、これまでの発信が資産になるわけでもないし、頑張った先に「既得権益」になるわけでもないの、かなり上手くやらないと詰んじゃう。

「その知識とバイタリティがあるなら、もっと勝てることをやればいいのに」と思うことが結構あります。

=====

ということで、如何でしたでしょうか？

私はかなり共感できました。

冒頭でも少し触れましたが、「好きなことを仕事にしよう」的なことを若者に提唱していたり、それこそ若者の間で「好きなことじゃないと続かない」等々いわれていることがあります。でも、そもそもしたくないくせに分かんねーだろ、って思ってます。

目の前の仕事を一生懸命頑張ってやって結果出したら楽しくなるし、好きになるだろ、って思ってます。

やってもみないで何言ってるの、って思ってますし、結局仕事を楽しくするのも好きなものに変えるのも自分次第だろ、って思ってます。。

とても古い感覚で偏っていると全否定されそうですが、結局みんな何かしら仕事しないといけないわけですし、せつかくやるなら一生懸命やって、楽しくなった方が良く好きになった方が良くないと思います。

そして、記事にあった「仕事選びの型」は非常に重要であると感じました。

しかし、よく考えてみると私自身はこの「仕事選びの型」をずっと間違ってきたのかもしれない。。

皆さまはいかがでしょう？？？

海運基礎知識 「船の証書管理について」

今回は、「船の証書管理」について取り上げてみたいと思います。

船舶管理の仕事をしていると、「Certificate(証書)」という言葉を目にする機会が非常に多くあります。船には実に多くの証書が備え付けられており、船舶管理会社では、それぞれの証書について有効期限や検査の実施状況などを管理しています。

では、なぜ船にはこれほど多くの証書が必要なのでしょう？

今回は、船舶の「証書」について、基本的なところを簡単に整理してみたいと思います。

なぜ船の証書はこんなにたくさんあるの？

船舶は、一つの法律や規則だけで管理されているわけではありません。

例えば、船体や機関の安全、救命設備、消防設備、無線設備、海洋汚染防止、船員の労働環境、船舶保安など、それぞれ異なる分野について国際条約や国内法、船級規則などによって細かく基準が定められています。

そして、船舶がこれらの基準を満たしていることを証明するために、それぞれに対応した証書が発行されます。

船舶の安全や環境、船員などを多方面から確認するため、それぞれに証明が必要なのです。

どんな種類の証書があるの？

ざっくりと分類すると大きく4つのグループに分けられると思います。

- ①条約証書: Cargo Ship Safety Construction Certificate (SC)、Cargo Ship Safety Equipment Certificate (SE)、Cargo Ship Safety Radio Certificate (SR) など、SOLAS (海上人命安全条約) に基づく証書や油濁防止に関するIOPP Certificate、大気汚染防止に関するIAPP Certificate、Ballast Water Management Certificate等海洋環境に関する証書、又は、ISM Codeに基づくSafety Management Certificate (SMC)、ISPS Codeに基づくInternational Ship Security Certificate (ISSC)、MLC条約に基づくMaritime Labour Certificate (MLC) 等船員・安全管理に関する証書などがあります。
- ②船級証書: Classification Certはじめ、船体・機関・機装・航海安全等々に係る船級が発行する各種証書。
- ③旗国・契約関係: 船舶国籍証書、最低安全乗員証書、P&I (船主責任相互保険) 証書、登記関連書類、傭船契約に紐づく書類、各種保険証書など。
- ④整備・点検記録: Life boatやLiferaft、消火設備、Gas Detecor等の整備・点検記録なども必須となります。

どうやって管理しているの？

- ・船舶ごとにファイルで紙の原本を保管し、バックアップのPDFをデータで管理、エクセルのチェックリスト等で期限管理をする、という形が多いと思います。
- ・証書は「ファイルに保管しておけばよい」というものではありません。有効期限の管理をするとともに一定の時期に検査を受けたり、更新の手続きを行ったりして証書の有効性を維持しなくてはなりません。
- そのため船舶管理会社では、各船の証書について、証書の種類/発行日/有効期限/検査の期限/証書のStatus/証書の電子ファイル/必要に応じたEndorsementや更新履歴、等々を管理しています。
- 特に「期限管理」を確実に行っておかないと、更新手配のタイミングや検査の実施タイミングなど逸してしまい証書の有効期限に影響を及ぼしてしまうので、本船のスケジュールや寄港する港なども考慮して前広に手配を検討しておく必要があります。
- ・近年は電子証書も増えてきており、紙だけでなく電子データとの両方を整合させて管理する必要が出てきております。
- ・紙の台帳とExcelだけで運用する会社もいまだに少なくありませんが、ルールも厳格化の傾向にあり管理すべき証書類も増加しておりますし、管理隻数が増えるほど“期限の見落とし”がリスクに直結するため、近年はクラウドでの一元管理に移行する流れが加速しています。

適切な証書管理がなぜ重要なのか？

船舶の証書は、単なる「船に備え付けておく書類」ではありません。

PSC(Port State Control)などの検査では、証書の有効性や記載内容、必要なEndorsementの有無などが確認されます。また、証書の期限切れや必要な検査の未実施などが発生すれば、船舶の運航に影響を及ぼす可能性もあります。そのため船舶管理会社にとって、証書を正確に保管し、期限や検査を確実に把握し、更新漏れを防ぐことは、船舶を安全かつ安定的に運航するための重要な管理業務の一つです。

以上、非常に簡単ではありましたが、「船の証書管理」について簡単に説明させて頂きました。

船には多くの証書がありますが、それぞれが「安全」「環境」「船員」「保安」など、船舶をさまざまな角度から適切に管理するために必要なものです。

そして、証書管理で重要なのは、単に「どこに証書を保管しているか」ではなく、「いつまで有効なのか」「次に何の検査が必要なのか」を常に把握し、期限切れや更新漏れを確実に防ぐことです。

当社グループの㈱HSMの船舶管理システム「RitCH」では、こうした証書情報を一元的に管理する「Certificate Manager」を提供しています。証書の情報や電子ファイルを管理だけでなく、期限情報を一覧で把握し、期限切れや更新漏れを防ぐ為のアラート機能など、証書管理を効率化し、船舶管理業務をサポートします。

最後は少し宣伝になってしまいましたが、証書管理は船のスムーズで安全な運航を支えるとても重要な業務の一つです。

以 上